

2026

ここにしかない学びをみつけよう。



教科横断探究コース

—義務教育専攻1年生のあなたへ



学部+αの深い学び

このコースでは、自分の所属専修での学びにプラスして、教科や総合的な学習の時間、特別活動など教科等を横断した学びや探究的な学びを、他の専修の学生や他学年の先輩・後輩たちと一緒に作り上げていきます。

学部で学んでみて、さらに学びたい場合は、大学院に進学する道もあります。

Vision

教科横断探究コースでは、人やモノ、ディシプリン間のコミュニケーションを通して次のような資質・能力を発揮できる教師の育成を目指します。



Outcome

	1-2年次 [子ども]	3年次 [教材]	4年次 [実践]	プログラム全体を通して目指す 資質・能力
観る Appreciation	<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもの活動や遊びを共にすることを通して、感じ方や見方に気づくことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 具体的な教材を賞味し、他者の見方と交わる中で、教材を異なる観点から価値付けることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもとの対話の中から教科・単元の学習テーマを構想できる。 	他者や世界に共感して思いや感じ方を理解すること、自らの行動や実践を観ること。
編む Weaving	<ul style="list-style-type: none"> ● 一緒に活動することができる。 ● 多様な活動に参加することができる。 ● 子どもの感じ方や見方に応じた教材や遊びを構想できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 既存の教材や学習活動を試行錯誤することを通して別の価値を発見し、新たな教材を生み出すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 教科・単元の学習テーマと子どもの関心をつなぐ教材や学習活動を教科横断的な視点から構想できる。 	課題に対する探究活動の中で、教科の学びを編み直し、新たな知識、見方・考え方、スキルを創り上げていくこと。
振り返る Reflection	<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもの具体的な姿・ことばから、自らの子どもの捉え方を振り返ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 授業者としての思いや行為と学習者のそれらを突き合わせながら、自ら構想した学習活動を振り返ることができる。 		自己と他者、自己と社会とのつながり、自らの実践を省察すること。
	子どもを観るのではなく、子どもの側から <u>観る</u> ことができる。	教材を教科、教科横断双方の視点から <u>価値づける</u> ことができる。	「教科横断すること」の意味を自分なりに理解して学習活動を <u>構想</u> し、授業を <u>批評</u> できる。	

Learning Model

	1-2年次 [子ども]	3年次 [教材]	4年次 [実践]
観る Appreciation	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもの活動や遊びを共にすることを通して、感じ方や見方に気づく。 (附属学校園、県内外小中学校) 	<ul style="list-style-type: none"> ●具体的な教材を賞味し、他者の見方と交わる中で、教材を異なる観点から価値付ける。 (附属学校園、県内外小中学校) 	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもとの対話の中から教科・単元の学習テーマを構想する。 (附属学校園、県内外小中学校)
編む Weaving	<ul style="list-style-type: none"> ●一緒に活動する。 (附属学校園、県内外小中学校) ●子どもの感じ方や見方に応じた教材や遊びを構想する。 (子どもキャンパスプロジェクト) ●「子どもの側から観る」とは？ (ゲストティーチャーから学ぶ) 	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもの感じ方や見方に応じた教材や遊びを構想する。 (子どもキャンパスプロジェクト) ●既存の教材や学習活動を試行錯誤することを通して別の価値を発見し、授業を実践する。 (附属学校園、県内外小中学校) 	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもの感じ方や見方に応じた教材や遊びを構想する。 (子どもキャンパスプロジェクト) ●教科・単元の学習テーマと子どもの関心をつなぐ教材や学習活動を教科横断的な視点から構想する。 (附属学校園、県内外小中学校)
振り返る Reflection	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもの具体的な姿・ことばから、自らの子どもの捉え方を振り返る。 (附属学校園、県内外小中学校) 	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもの具体的な姿・ことばから、自らの子どもの捉え方を振り返る。 ●子どもキャンパスプロジェクトの振り返りを文章にまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●授業者としての思いや行為と学習者のそれらを突き合わせながら、自ら構想した学習活動を振り返る。 (附属学校園、県内外小中学校)

Voice

・教科横断探究コースに興味を持ったきっかけは何ですか？

共に切磋琢磨してできる仲間と出会い、自分自身をもっと成長させたいという思いからこのコースに入りました。また、なんとなく過ごしている自分を変えたいという思いでコースに入った学生もいます。

・教科横断探究コースではどんなことをしていますか、何ができますか？

興味のある小中学校への授業見学や、佐久島の学校での授業実践など、大学内では得られない多様な経験をすることができます。学科ごとの視点や学年ごとの視点など、様々な角度から教育を考えることができることも魅力の1つです。やりたいことに挑戦できる自由度が高く、先生方も1人ひとりの挑戦を後押ししてくださいます。多様な視点から考えを取り入れながら学びを深められる環境があります。

・教科横断探究コースはどんな人にお勧めですか？

特に、「一歩踏み出したい」と感じている人に、このコースに入ってほしいと思います。また、どんなことにも挑戦してみたい人に来てほしいと思っています。教科横断探究コースは、自分の選択肢や可能性を大きく広げてくれる場所です。ぜひ私たちと一緒に、新しいことに挑戦しながら学びを深めましょう！



教科横断探究コース第21期生



教科横断探究コース
第17期生
入コース時は6年一貫教員養成コース
大沼 あゆみさん
岡崎市立小学校教諭(初等教育教員
養成課程英語選修 2025.3月卒業)

・教科横断探究コースに興味を持ったきっかけは何ですか？

自分の専攻ではない学科の学生と関わることで、自分の考えや視野が広がるのではないかと考えたためです。

・教科横断探究コースでの活動をどのように感じましたか？

コースでは自分たちと同じ学年の学生と学ぶ授業に加えて、コース生全員が集まり、1つのテーマについて話し合う時間や、佐久島実習があります。正解のない問いに対して、それぞれの学生や先生の専門的な知識を掛け合わせて、向き合っていく過程が非常に印象的でした。

・教科横断コースで学んだことが現場でどのように活かしていますか？

各教科の授業を、その時間限りの学びとして終わらせるのではなく、その学びをどのように活かすことができるのか、子どもと考えるようにしています。日々、思い通りにいかないことも多く戸惑う場面もありますが、このコースでの学びが現在の私の実践の基盤になっていると感じています。

Check!

コース説明会

4月14日(火) 12:30~13:00

4月21日(火) 12:30~13:00

4月28日(火) 12:30~13:00

教育人文棟2F 202演習室(予定)

※内容はすべて同じです。

体験授業

いつでも見学できます。

開催日時は説明会等で御確認ください。

Q. どうしたらコースに入れますか?

A. 7月中旬に学務ネットで募集が始まります。出願期間は7月中旬~9月中旬で、9月下旬に面接を経て、合格した場合、10月中旬からコースに所属することになります。まずは、学務ネットのお知らせを見逃さないようにしてください。

Q. 教育支援専門職養成課程に所属していますが、コースに入れますか?

A. 教科横断探究コースは、学校教員養成課程義務教育専攻向けのコースのため、申し訳ありませんが、義務教育専攻所属の方以外は出願いただけません。

Q. コースに入るのに費用はかかりますか?

A. コースに所属するための費用はありません。
なお、コースの活動で様々なところに行くときには、交通費等がかかります。

Q. 大学院には必ず行かないといけませんか? 今はまだそこまで考えられないのですが。

A. コースの学びは、学部4年間で完結します。さらに学びを深めたい場合、教職大学院で学ぶことも可能です。教職大学院でも、学部と同じく、所属のコース・系での学びにプラスして、教科横断探究コースの学修を行います。大学院のことはまずは考えなくとも、コースの活動内容に少しでも興味があれば、コース説明会や体験授業にお越しください。



国立大学法人

愛知教育大学

AICHI UNIVERSITY OF EDUCATION

お問い合わせ先

〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1

愛知教育大学 教務企画課教育課程係

Tel:0566-26-2164 E-mail:kyouikukatei@m.auecc.aichi-edu.ac.jp

教科横断探究コースHP

<https://www.6ikkan.aichi-edu.ac.jp>



コース公式LINE

最新情報配信中

